

佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

「旧佐渡鉱山採鉱施設 **3基4棟 1所**」が 国重要文化財に指定されました

【指定物件】大立竪坑櫓、大立竪坑捲揚機室、道遊坑及び高任坑、高任粗砕場、高任貯鉱舎及びベルトコンベアヤード、電車車庫（機械工場）、間ノ山上橋、間ノ山下橋。
各坑道から集められた鉱石は大立竪坑・高任坑を経て高任地区の粗砕場で破碎、選別された後、貯鉱舎に貯蔵されました
(間ノ山上橋以外は、佐渡金銀山遺跡)として、国の史跡に指定されています



高任地区鉱山施設

相川金銀山の代表的な建造物である大立竪坑櫓を含む「旧佐渡鉱山採鉱施設」が、平成24年10月19日の答申を経て、同年12月28日に国の重要文化財に指定されました。

「旧佐渡鉱山採鉱施設」は、昭和13年の重要鉱物増産法施行に伴って整備された諸施設からなり、採鉱から製錬に至る一連の工程のうち、採鉱にかかる建造物や機械が一体となって残されています。昭和戦前期の鉱山施設の実像を知るうえで重要であり、歴史的価値の高さが評価されたものです。

Sado Gold and Silver Mine Newsletter 第7号 INDEX

- 2 …… ▶「上相川地区」が国史跡に指定されます
▶金銀山ニュース①
- 3 …… ▶世界遺産国際シンポジウム「歴史資料から見る佐渡金銀山」
- 4 …… ▶クリストファー・ヤング博士再度の佐渡金銀山視察
▶佐渡金山の近代化遺産と相川京町通りを散策する見学会
▶鶴子銀山関連遺跡現地見学会 ▶首都圏での砂金採り・金塊つかみどり体験 ▶金銀山ニュース②
- 5 …… **委員会報告** ▶佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会
▶佐渡金銀山調査指導委員会 ▶史跡保存管理委員会
▶相川海岸高潮対策事業検討委員会 ▶金銀山ニュース③
- 6 …… ▶佐渡金銀山世界遺産フォーラム
- 7 …… ▶「佐渡学」の学習(相川高等学校) ▶韓国ICOMOS主催の国際会議に参加 ▶「佐渡のお能と能舞台」トーク&ミニコンサート(佐渡を世界遺産にする新潟の会) ▶佐渡金銀山 文学碑を訪ねて⑤
- 8 …… ▶平成24年度の活動状況

Vol.7
2013.3.31

「上相川地区」が 国史跡に指定されます



上相川地区 集落跡④⑤

江戸時代に相川金銀山を支えた山師や鉱山労働者などが居住した重要な鉱山集落跡であると考えられている上相川地区が、平成24年11月16日の答申を経て、平成25年3月に国史跡佐渡金銀山遺跡に追加指定されます。

佐渡金銀山遺跡は、近世から近代にかけて国の財政を支えた国内最大の金銀山として、吹上海岸石切場跡（平成21年7月23日追加指定）、旧佐渡鉱山の近代遺跡（平成22年2月22日追加指定）、鶴子銀山跡（平成23年2月7日追加指定）、片辺・鹿野浦海岸石切場跡（平成24年1月24日追加指定）といった関連遺跡が追加指定されてきました。

今回追加指定となる上相川地区は、16世紀末～17世紀初頭、相川金銀山の開発に伴い成立した鉱山集落で、鉱山都市相川の礎ともいえる遺跡です。

集落は、明治時代に廃絶し遺跡となりましたが、今でも斜面を造成した平坦地や石垣、道路跡・寺社跡等が良好に残されており、「上相川千軒」とよばれた江戸時代の最盛期の様子を物語っています。



金銀山 NEWS

①

文化的な景観を保全する地域住民ネットワーク 第1回ワークショップ

平成24年9月1～2日、滋賀県近江八幡市において開催されたワークショップに、佐渡市職員が「笹川の景観を守る会」の代表者2名とともに参加しました。このネットワークは、全国各地の重要文化的景観選定地区の住民組織の相互連携を目的に発足したもので、佐渡市のほか高知県津野町、長崎県平戸市、熊本県山都町など全国6地区9団体の代表者が参加し、6次産業化*に向けた取組みや各地区の住民活動の事例報告、近江八幡の水郷景観の現地視察などが行われました。

今回のワークショップを機に、全国各地の住民団体との交流を深めていきたいと考えています。

*農林水産業が食品加工・流通販売にも業務展開する経営の多角化



世界遺産国際シンポジウム 「歴史資料から見る佐渡金銀山」

平成24年10月13日(土)、佐渡市のアミューズメント佐渡・小ホールにおいて、世界遺産国際シンポジウム「歴史資料から見る佐渡金銀山」を開催し、310名が参加しました。佐渡金銀山に数多く残る歴史資料について、研究者が研究成果を発表するとともに意見を交換しました。



◇調査報告「鉱山絵巻から見る佐渡金銀山」 渡部浩二（新潟県立歴史博物館主任研究員）

日本の鉱山絵巻全体の中でも佐渡金銀山絵巻の数・内容・影響力は卓越しており、これは佐渡金銀山の重要性や人々の関心の高さを示すものである。世界遺産登録に向け、今後もさまざまな視点から研究を進める必要がある。

◇調査報告「実習報告から見た近代佐渡鉱山の技術」 内藤隆夫氏（北海道大学大学院経済学研究科准教授）

東京帝国大学工学部の学生が佐渡鉱山について記した実習報告書を分析すると、生産力を上げるため欧米の技術を導入した面と、近世からの技術が近代の技術と融合した面が見られる。近世から近代における技術の変化と継承・融合という視点によって、佐渡鉱山の見方がより豊かになると考えられる。

◇調査報告「古写真・鉱山図面から見る近代佐渡鉱山の変遷」 余湖明彦（新潟県立文書館副館長）

近代佐渡鉱山の変遷を示す資料としての古写真・絵はがき・鉱山図面は、文字だけではわからないビジュアル的要素としての価値がある。図面等は施設復元の手がかりとなり、古写真には当時の鉱山労働・人々の生活・社会情勢等が記録されている。これらの古写真や図面をさらに活用することが、近代佐渡鉱山を調査する上で有益である。

◇講演「欧州・アメリカにおける佐渡金銀山絵巻」 レギーネ・マティアス氏 （ドイツ・ルール大学東アジア研究学部日本史学科教授）

欧米での日本の鉱山絵巻のほとんどは佐渡金銀山に関連するもので、それらは内容的にも優れており、佐渡金銀山は日本を代表する鉱山として高く評価されている。欧州には古代鉱山についての資料は少なく、特に16世紀以前の採鉱と冶金を描写した絵画はほとんどない。その点で、佐渡金銀山絵巻は欧州での古代から16世紀までの採鉱や製錬過程を理解するための大切な資料と見なされている。また、1990年代以降、歴史学においてビジュアルな資料をより大切にすべきとの新しい見方が起こり、この点でも佐渡の絵巻は優れた資料とされ、世界遺産登録実現にも大きな役割を果たすものと考えられる。

◇パネルディスカッション

「歴史資料から見る佐渡金銀山」

パネリスト…レギーネ・マティアス氏、内藤隆夫氏、
仲野義文氏（石見銀山資料館長）

コーディネーター…小風秀雅氏

（お茶の水女子大学大学院教授）

マティアス氏 欧州で日本の鉱山絵巻が優れていると評価されたのは、炉の形や道具等が非常に細かく描かれているからである。中でも佐渡の絵巻からは欧州の16世紀までの技術・工程がよくわかるので、それらは欧州の鉱山史研究で重要な役割を果たした。また、佐渡では経済的・技術的な面も考えた上で当時の最適な技術を使っていたという見方は大切である。

内藤氏 佐渡金銀山の文献資料は江戸時代のものはよく知られているが、明治以降のものがほとんどない。その反面、実際に見ることのできる主要な資産は近代のものであり、この差をどのように埋めるかが重要になってくる。その点で実習報告書は貴重な資料である。近代で何が変わらずに継承され、何が融合したか、この意義を現在の視点から検討することが重要である。

仲野氏 石見銀山の研究をすると必ず佐渡に行き着く。歴史的にも両者は深く交流しており、非常によく似た構造を持っている。交流を重ねる中で資料が交流先に残ることもある。鉱山の歴史的価値を確定していくにあたり歴史資料の分析は不可欠であり、今後のさらなる調査が期待される。

小風氏 佐渡の絵巻や日本の鉱山史研究が欧州で関心を呼んでいる。佐渡鉱山が独特な鉱山であること、技術史的にも非常に興味深い鉱山であることが明らかになった。その意味において、世界で唯一の鉱山としての価値を証明できる可能性が出てきたと感じる。



クリストファー・ヤング 博士再度の 佐渡金銀山視察

平成21年に佐渡金銀山を視察していただき、世界遺産登録に向け有益なアドバイスをいただいたクリストファー・ヤング博士（イングリッシュ・ヘリテージ国際助言担当）から、今後も継続的に指導をいただくことになりました。博士は平泉の世界遺産登録にも尽力されています。



平成24年8月17日(金)～19日(日)の暑いさなか、二度目の佐渡金銀山視察を行い、博士はここ3年間で格段に進んだ調査の状況に驚かされていました。博士からは、世界遺産登録に必要となるストーリーの構築や、これに沿った登録基準や構成資産の選択について、さらなるアドバイスをいただきました。今後本格化する登録に向けた推薦書作成にも助言をいただくことになっています。

佐渡金山の近代化遺産と 相川京町通りを散策する 見学会

平成24年9月29日(土)、「佐渡金山の近代化遺産と相川京町通りを散策する日帰りツアー」を開催しました。約120名の参加者



が、相川の近代化遺産と京町通りをガイドの案内により散策するとともに、「佐渡國 草の会」による伝統芸能“やわらぎ”を鑑賞しました。参加者は鉱山の繁栄の歴史を体感し、世界遺産候補の価値を再認識していました。

平成24年度 鶴子銀山関連遺跡 発掘調査 現地見学会

平成24年9月22日(土)、世界遺産登録に向けて発掘調査を実施している鶴子銀山代官屋敷跡と鶴子荒町遺跡で現地説明会を開催しました。



鉱山集落があった荒町遺跡では、炭化物やフイゴの羽口（送風管）、こうさい 鉱滓（製錬カス）が多量に出土する場所があり、炉跡が発見される可能性もでてきました。同遺跡は平成25年度も引き続き発掘調査を実施する予定です。

首都圏での 砂金採り・金塊つかみどり体験

平成24年12月14日(金)～16日(日)、日本最大のショッピングセンターであるイオンレイクタウン（埼玉県越谷市）で、新潟フェアの一環として砂金採り・金塊つかみどり体験のアトラクションを実施しました。会場は家族連れ等であふれ、終始歓声が絶えず、埼玉県の方々への世界遺産候補・佐渡金銀山の絶好のPRとなりました。



金銀山 NEWS

②

インドの鉱山関連施設などを視察しました

平成24年12月10日から23日にかけて、井澤英二九州大学名誉教授と新潟県・佐渡市職員が南インド・カルナータカ州のコラル金山を視察しました。19世紀末に発見されたコラル金山は、50万トンの鉱石から800トンもの金を産出したアジア最大の金山です。ここには、イギリス資本で整備されたたてこうまきあげぐら 鉱山施設やイギリス統治時代の建物などが数多く残っており、鉄製の堅坑捲揚槽などを実見することができました。

また、このような鉱山のほかに、17世紀に日本から小判を買い付けたオランダ東インド会社の要塞跡が残るコロマンデル海岸のプリカットなどの港町も視察しました。



佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会

世界遺産登録に必要な推薦書の作成の指導をお願いしている学術委員会は、平成24年10月の開催で通算9回を数えました。海外の専門家を交えての議論や、テーマを限定した部会による議論等、さまざまな角度からの検討が行われています。これまで、「東アジアの中での佐渡金銀山の価値を明らかにするために十分な比較研究が必要」との指摘があり、平成25年度から本格的に推薦書の作成を始めるため、新潟県・佐渡市の事務局も準備作業に追われています。今後は学術委員会で固めた推薦書の骨子を、海外の専門家を交えてさらに検討していくことになります。

佐渡金銀山調査指導委員会

世界遺産の構成資産候補の調査・保存整備のため、平成20年度より遺跡・建造物と文化的景観の2分野からなる調査指導委員会を設置しています。



平成24年9月18日から19日にかけて開催された平成24年度2回目の遺跡・建造物専門分野会議では、鶴子荒町遺跡の現地視察のほか、各資産の今後の調査方針や、文化財指定等に係る中長期計画について検討が行われました。

また、12月4日の第2回文化的景観専門分野会議では、相川地区の文化的景観の価値や保存計画策定方針、西三川地区の整備活用についての議論が行われました。特に相川地区においては、今後、重要文化的景観選定に向けての住民説明会の開催を予定しています。

史跡保存管理委員会

本委員会では、平成23年度に策定した「史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画書 第I期」で示されている整備活用の基本方針に基づき、平成24年度から整備基本計画策定のための検討を進めています。さらに史跡地内建造物のうち、特に緊急度の高い建造物については、将来保存修理を実施するための詳細調査による検討を行っています。調査対象建造物には、平成24年12月28日に重要文化財に指定された建造物を含み、史跡及び文化財建造物の視点から慎重に調査し、修理方針を示す必要があります。

平成24年10月23日に開催された第2回の委員会では、史跡の課題や、調査内容・計画の進め方について議論がなされました。今後は、分析結果等を基に整備活用事業の内容及び実施の方法、課題を明確にし、緊急度の高い建造物については各種調査成果を基に、修理方針の検討を行う予定です。

相川海岸高潮対策事業検討委員会

平成16年に台風による高潮被害を受けた相川海岸の高潮対策事業について、平成21年から委員会で検討を重ねてきました。相川海岸の公共工事については防災と景観の両面からの検討が必要なため、新潟県と佐渡市の文化財保護部局や工事担当部局、土木工学や景観の専門家等による検討が時間をかけて行われました。さらに説明会を通じて、地元住民の方々や漁業関係者とも意見交換を行い、世界遺産に登録される上で重要な要素とされる景観について話し合い、知恵を出し合いました。

平成24年10月24日に開催された第8回委員会において、世界遺産の構成資産候補である大間港の付近では、高潮被害を防ぐとともに景観にも配慮した海面からの高さの低い離岸堤工法とすることが決定されました。長い時間がかかりましたが、世界遺産登録に向けてともに考える貴重な機会になったと思います。

金銀山 NEWS

3

佐渡市寺院建造物悉皆調査が終了しました

佐渡市では平成19年度から平成23年度にかけて、市内全域に現存する2,165棟の寺院建造物について、所在地、規模、構造概要、建築年代、保存状況などを確認する悉皆調査を実施しました。その中から建築史的な価値が高いと評価できる125棟の本堂と堂を対象として詳細な建築調査を行い、各建造物の解説と宗旨ごとの特徴などを整理した『佐渡市寺院建造物悉皆調査報告書』を刊行しました。

報告書は、市内図書館および佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センターのホームページでご覧いただけます。

詳細調査物件建築年代分布表 (単位:棟)

宗旨・種別	1600年代			1700年代			1800年代			1900年代			計
	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	
本堂	曹洞宗			6	2	1	2	2					13
	浄土真宗			1	2	3	3	1					10
	浄土宗					4	1	1	1	1			8
	日蓮宗		1	1	3	1	3	3			1		13
	真言宗				6	6	2	5			2		21
	天台宗										1		1
	時宗						1						1
	単立・その他			3		2	1	1	1				8
	計		1	5	17	19	8	13	7	1	4		75
	堂	多室構成堂	1			2	6		1	1		2	
1室構成1間堂					1	1							2
1室構成3間堂				3	5	5	3	4	3	1	1		25
1室構成5間堂				2	3	1		2		1	1		10
計		1	2	3	11	13	3	7	4	2	4		50
合計	1	3	8	28	32	11	20	11	3	8		125	

佐渡金銀山世界遺産フォーラム

主催：新潟県教育委員会、佐渡市、新潟大学、佐渡を世界遺産にする新潟の会、新潟日报社、BSN新潟放送

平成24年11月25日(日)、新潟市の朱鷺メッセ・マリンホールにおいて、佐渡金銀山世界遺産フォーラムを開催し、約350人が参加しました。前ユネスコ事務局長の松浦晃一郎氏が基調講演を行い、各主催団体の代表が佐渡金銀山の魅力を語り合いました。また、両津湊若松会鬼組による郷土芸能「鬼太鼓」の披露もありました。



◆基調講演

「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」

松浦晃一郎氏(前ユネスコ事務局長、元駐仏大使)

佐渡金銀山を世界遺産に登録するためには、世界遺産全体の動向を踏まえた上でどのように提案するかが重要となる。平成23年5月に現地を視察したが、なかなかよい候補案件だと感じた。しかし、まだまだ詰めるべき点が残っている。イコモスが納得できる推薦書をつくりあげるには、核となるコンセプトを据えて構成資産を絞り込み、全体としてのストーリーを構築しなくてはならない。佐渡には優れた技術で金を生産しそれを小判にしてきたという歴史があり、それを中核に据えるべきと思う。そして、地域社会の責任で資産をしっかりと守っていくことが求められる。行政と地元の方々が一になった取組みが必要である。



上山氏 写真家として、佐渡の魅力にとりつかれてきた。佐渡にはすばらしい被写体がたくさんあるが、私は人間が最高の被写体だと思う。写真は記録だということを常に心がけている。佐渡は「そこで生活したい」と言わせるような島であり、「やっぱり佐渡はいいな」と言われる島であり続けてほしい。「佐渡を世界遺産にする新潟の会」にもより多くの方々に参加していただきたい。



澤邊氏 相川では江戸時代初期に金銀山が発見されて以来、明治・大正・昭和と継続して金銀が掘り続けられてきた。鎖国下の江戸時代の鉱山技術と、欧米技術を導入して近代化された明治以降の鉱山技術の両方を見ることができる。採掘・選鉱・製錬といった鉱山の基本的な仕組みが良好に残っている点が佐渡金銀山の魅力である。

小林氏 佐渡金銀山を視察し、新潟県にはすばらしい宝があることを改めて認識した。行政と地域の取組みに加え、県民一人一人が佐渡金銀山の価値を理解していくことによって、世界遺産登録が近づくのではないかと。パネリストの方々の活躍に興味を持って関わっていただければありがたい。

◆パネルディスカッション

「佐渡金銀山の魅力について」

◆パネリスト

橋本博文氏(新潟大学人文学部教授)

南加乃子氏(株式会社新潟放送報道制作局専門局長)

上山益男氏(佐渡を世界遺産にする新潟の会副会長・写真家)

澤邊一郎氏(株式会社ゴールデン佐渡取締役社長)

◆コーディネーター

小林啓之氏(新潟日报社報道部長)

橋本氏 佐渡金銀山を象徴する排水器具である水上輪がどのように佐渡に伝わってきたかを調査したところ、オランダのポンプが佐渡の水上輪と技術的に関係が深いことがわかった。また、相川郷土博物館の鉱山模型とそっくりの模型がオランダの博物館にあることもわかった。オランダは17世紀に日本から金を持ち出しており、そうした交流の中でオランダの技術が入って来たのではないかと。

南氏 17世紀にオランダ東インド会社によって持ち出された佐渡小判がどうなったかを調べるため、会社の拠点があったインドや会社の本部があったオランダを調査した。また、佐渡小判を再現する実験を専門家の協力を得て行い、当時の技術水準の高さを実感した。特別番組「SADO GOLDEN ROAD ～世界を巡った佐渡小判～」(平成25年1月1日放送)でこれらを紹介する。

佐渡金銀山世界遺産登録啓発ポスター展

若い世代の方々にも佐渡金銀山の世界遺産登録に関心を持っていただくため、デザインを学ぶ県内の学生からポスターを募集したところ、70作品の応募がありました。ロビーにはこれらの作品が展示され、参加者はさまざまなポスターに見入っていました。フォーラム終了後のパネリスト及び新潟県立近代美術館長による審査で、金・銀・銅賞が選ばれました。これらの優秀作品はポスターとして公共施設等に掲出されます。



金賞
新潟デザイン専門学校
笠原優多



銀賞
日本アニメ・マンガ専門学校
五十嵐舞



銅賞
新潟デザイン専門学校
井関華奈

「佐渡学」の学習

県立相川高等学校 教頭 橋本敏郎

本校では、県教育委員会の「オンリーワンスクール・ステップアップ事業」の一環として、世界に目を向けるとともに、「地域の歴史や文化等について理解を深め、郷土を愛する心を育てる」ことを目的として、「佐渡学」の学習をしています。平成24年7月に佐渡金銀山や世界遺産についての講演会を開き、10月に相川ふれあいガイドの方々の案内のもと、佐渡金山から北沢にかけて歩きました。また、平成25年3月には、佐渡の祭と伝統芸能についての講演会を開きました。生徒にとって地元佐渡の持つ歴史的価値を再認識するよい機会となりました。

◆佐渡学講演会「佐渡金銀山世界遺産登録に向けて」に参加して

1年 高野杏奈

佐渡で金が採れることは平安時代からわかっていたようで、長い歴史があると感じました。佐渡金銀山自体にも400年以上の歴史があり、保存状態が良いので、この状態を保ち、その歴史を後世につなげるのは素晴らしいことだと思います。佐渡金銀山が世界遺産に登録されて、自然を大切に、昔のままの姿を未来に残していけたらいいと思います。



◆佐渡探索学習「佐渡金銀山周辺散策」に参加して

3年 山本彩加

地元相川に住んでいながら、知らないことも多く、初めて行った所も多かったです。無宿人の墓は、一人一人の名前や年齢が書いてあってとても生々しく感じ驚きました。坑内での水の汲み上げの作業中に亡くなったということです。また、あの大きな北沢浮遊選鉱場跡のすぐ近くに相川高校のプールがあったということも初めて知り、驚きました。あそこで泳いだら不思議な気持ちになるだろうなと思いました。



韓国ICOMOS主催の国際会議に参加

平成24年9月10日から12日まで、世界遺産条約40周年を記念して韓国の扶余で開催された韓国ICOMOS（国際記念物遺跡会議）主催の国際会議に新潟県と佐渡市の職員が参加しました。会議では「世界遺産と持続可能な開発における地域コミュニティの役割」というテーマが掲げられ、遺産と関わりのある地域の生活や価値観等によどのような影響があるのかについて、アジアを中心とした参加国の取組み報告を参加者が共有しました。会議終了後には韓国の世界遺産暫定一覧表記載資産である扶余定林寺址や公州宋山里古墳群模型館、益山弥勒寺址といった遺跡を視察し、保存管理について意見交換をしました。



「佐渡のお能と能舞台」トーク&ミニコンサート

佐渡を世界遺産にする新潟の会

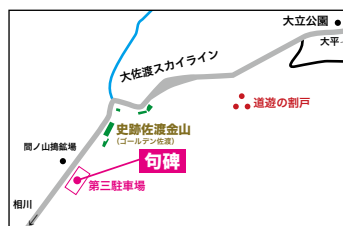
世阿弥ゆかりの佐渡は、能楽の島でもあります。長い間伝説上の人物だった世阿弥の存在や佐渡配流を明らかにしたのが『大日本地名辞書』の著者として有名な吉田東伍（阿賀野市出身）で、彼を生んだ新潟県（佐渡を含む）は能楽の恩人であると言っていいでしょう。そのような縁もあり、能で佐渡をアピールし、世界遺産への関心を高めようと、当会事業グループは、平成25年1月13日（日）に新潟市の「新潟大学駅南キャンパスときめいと」で能をテーマに講演会を開催しました。池田哲夫会長による能についての講演、狩野泰一さんの篠笛演奏に加え能楽師の津村禮次郎さんの飛び入り出演もあり、140人の聴衆はアンケートでも9割が満足と答え、当会グループの初企画講演は大成功でした。次回をお楽しみに。



佐渡金銀山 文学碑を訪ねて⑤

佐渡には、俳人が多く訪れています。正岡子規の弟子青木月斗（1879～1949）もその一人。昭和3年10月24日から30日まで滞在し、「金山の 日和つづきや 渡り鳥」と詠みました。（写真）

このほか、「金山の 峰の裂け目や 後の月」という句もあります。



平成24年度の活動状況



講座・イベント

4/24(火)	佐渡市重要3資産説明会(トキ交流会館)
4/25(水)	佐渡市重要3資産説明会(市役所相川支所)
4/26(木)	佐渡市重要3資産説明会(南佐渡観光案内所)
5/20(日)	連続講座①新潟会場 (新潟市:新潟大学駅南キャンパス)
6/2(土)	首都圏講演会(東京:東京国立博物館)
6/10(日)	連続講座②新潟会場 (新潟市:新潟大学駅南キャンパス)
7/1(日)	連続講座①佐渡会場(トキのむら元気館)
7/8(日)	親子で歩く世界遺産(相川地区)
7/15(日)	連続講座③新潟会場 (新潟市:新潟大学駅南キャンパス)
7/20(金)	小判プロジェクト(佐渡高等学校)
7/22(日)	連続講座②佐渡会場(アミューズメント佐渡)
8/5(日)	世界遺産登録推進懇談会(トキのむら元気館)
8/19(日)	連続講座③佐渡会場(トキのむら元気館)
8/26(日)	連続講座④佐渡会場(トキのむら元気館)
9/22(土)	鶴子銀山現地説明会(沢根地区)
9/29(土)	佐渡金銀山見学会(相川地区)
10/13(土)	国際シンポジウム(アミューズメント佐渡)
11/25(土)	佐渡金銀山フォーラム(朱鷺メッセ)
3/17(日)	世界遺産登録推進懇談会②(佐渡島開発総合センター)

調査

5/15(火).16(水).19(土)	新穂銀山分布調査
5/17(木)~19(土)	佐渡金銀山遺跡坑道探査 (松江工業高等専門学校久間教授)
5/21(月)~11/21(水)	鶴子銀山代官屋敷跡・鶴子荒町遺跡発掘調査
5/28(月).29(火)	佐渡金銀山絵巻検討会①
5/30(水)~6/1(金)	相川伝統的家屋調査(京都府立大学)
7/10(火)~3/22(金)	相川文化的景観調査(奈良文化財研究所)
7/12(木)~15(日)	相川伝統的家屋調査(京都府立大学)
7/14(土)~17(火)	相川都市史調査(東京大学)
7/18(水)~22(日)	佐渡金銀山絵巻検討会②
8/17(金)~20(月)	佐渡金銀山遺跡坑道探査 (松江工業高等専門学校久間教授)
8/21(火)~23(木)	相川伝統的家屋調査(京都府立大学)
9/3(月)~5(水)	相川・赤泊伝統的家屋調査(京都府立大学)
9/3(月)~6(木)	相川土地利用調査(新潟大学)
9/5(水)~	佐渡金銀山遺跡上寺町地区分布調査
12/6(木)~9(日)	佐渡金銀山遺跡坑道探査 (松江工業高等専門学校久間教授)
1/16(水)~18(金)	相川文化的景観調査(奈良文化財研究所)

委員会等

5/23(水).24(木)	史跡佐渡金銀山遺跡保存管理委員会①
5/31(木)	佐渡金銀山調査指導委員会 文化的景観専門分野①
6/20(水)	佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会⑦
6/28(木).29(金)	佐渡金銀山調査指導委員会 遺跡・建造物専門分野①
8/6(月)	相川海岸高潮対策事業検討委員会⑦
8/8(水)	佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会 作業部会②

8/21(火).22(水)	佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会⑧
9/18(火).19(水)	佐渡金銀山調査指導委員会 遺跡・建造物専門分野②
10/15(月)	佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会⑨
10/23(火)	史跡佐渡金銀山遺跡保存管理委員会②
10/24(水)	相川海岸高潮対策事業検討委員会⑧
12/4(火)	佐渡金銀山調査指導委員会 文化的景観専門分野②
2/16(土)	佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会 作業部会③
2/19(火)	史跡佐渡金銀山遺跡保存管理委員会③
3/8(金)	佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会⑩

(丸数字は回数を示す)

文化財指定

10/19(金)	「旧佐渡鉱山採鉱施設」国重要文化財(建造物)指定 答申
11/16(金)	佐渡金銀山遺跡上相川地区(鉱山集落跡)国史跡追加指定 答申
12/28(金)	「旧佐渡鉱山採鉱施設」国重要文化財(建造物)指定 告示

パネル展示

[常設展示]	新潟ふるさと村アピール館(6月から常設)
[常設展示]	佐渡汽船新潟港ターミナル
[常設展示]	JR新潟駅新幹線西口改札付近
[常設展示]	県立歴史博物館ロビー
[常設展示]	相川ふれあい集会所
[常設展示]	県立相川高等学校(6/25から常設)
[常設展示]	佐渡観光協会相川支部
[常設展示]	京町茶屋
4/24(火)~5/7(月)	新潟ふるさと村アピール館
5/11(金)~13(日)	第55回歴史地理学会大会
5/14(月)~6/12(火)	朱鷺メッセ31階展望室
7/7(土)~	佐州おーやり館1階
8/5(日)	佐渡金銀山世界遺産登録推進懇談会①
8/6(月)~8/17(金)	新潟空港ターミナル
8/20(月)~8/31(金)	三条地域振興局
8/31(金)~9/3(月)	佐渡国際トライアスロン大会 (アミューズメント佐渡)
10/6(土)~12/3(月)	山梨県立博物館
11/9(金)~22(木)	巡回パネル展(両津支所)
11/22(木)~12/17(月)	巡回パネル展 (佐和田行政サービスセンター)
12/7(金)~1/27(日)	ポスター展(佐渡汽船新潟港ターミナル)
12/17(月)~1/7(月)	巡回パネル展(新穂行政サービスセンター)
1/7(月)~1/21(月)	巡回パネル展(相川支所)
1/19(土)	新潟県関係者との新年の集い(東京都)
1/22(火)~2/4(月)	巡回パネル展(真野行政サービスセンター)
1/30(水)~2/11(月)	ポスター展(ながおか市民センター)
2/5(火)~2/18(月)	巡回パネル展(畑野行政サービスセンター)
2/19(火)~3/4(月)	巡回パネル展(羽茂支所)
2/21(木)~3/11(月)	ポスター展(アミューズメント佐渡ロビー)
3/5(火)~3/18(月)	巡回パネル展(小木行政サービスセンター)
3/18(月)~4/2(火)	ポスター展(新潟市立中央図書館)
3/19(火)~4/1(月)	巡回パネル展(赤泊行政サービスセンター)